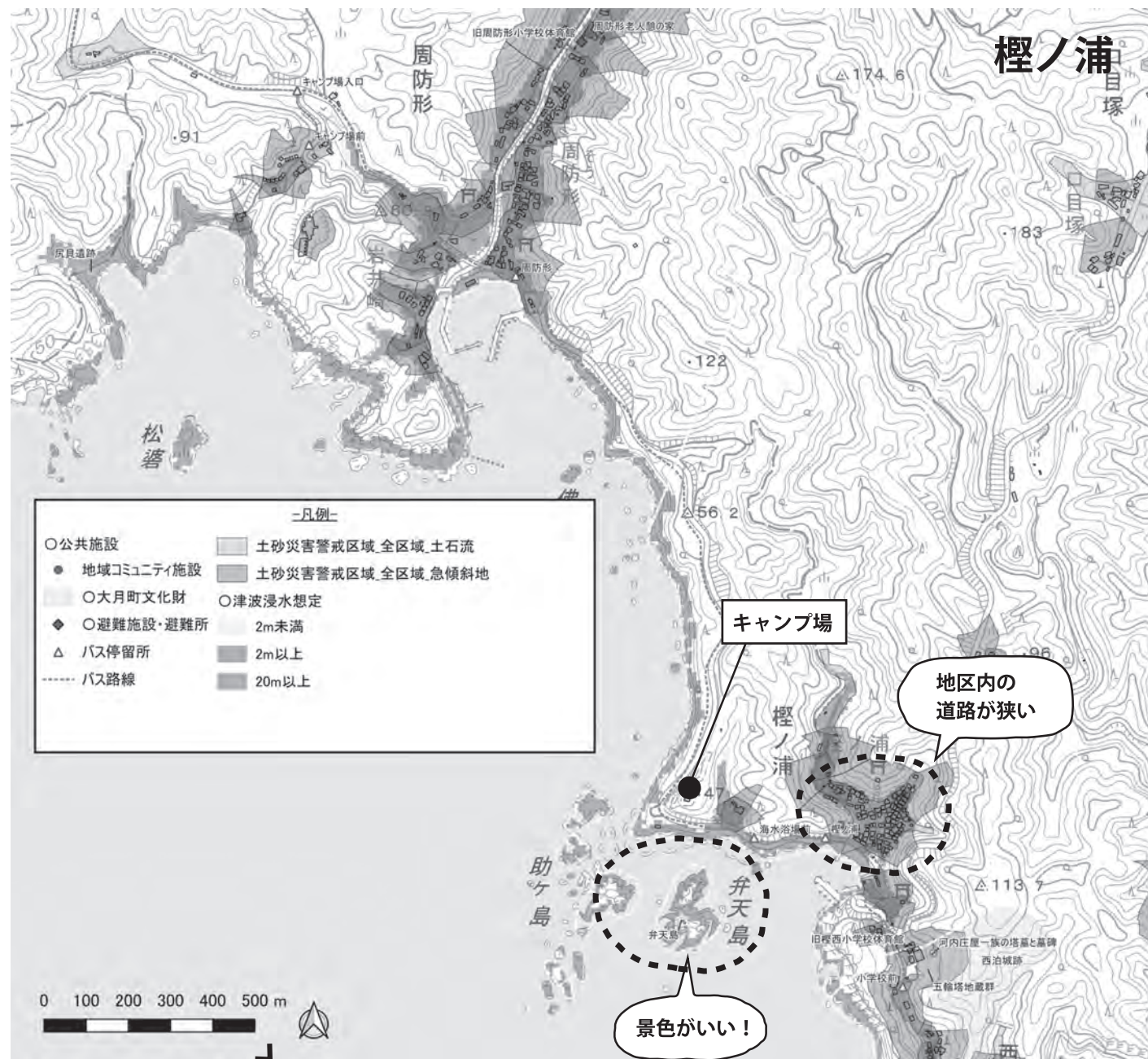




『事前復興まちづくり計画策定の流れ（予定）』

令和7年度以降も計画策定にあわせて、継続的に地区での話し合いの場を設けます。皆さまの意見をもとに、地区毎の復興まちづくり計画としてまとめていきます。

※以下は予定のため、今後変更になる可能性があります

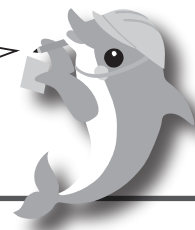
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
計画策定の取組	→			
有識者委員会等	▼	▼	▼	▼
地区での検討	第1回（今回） 地区の状況を共有する	第2回（仮） 復興目標を考える	第3回（仮） 土地利用を考える	第4回（仮） 地区での準備を考える
				パブリックコメント

お問い合わせ

大月町役場 総務課 危機管理室
〒788-0302 幡多郡大月町弘見 2230 番地
Tel：0880-73-1140 Fax：0880-73-1380



大月町事前復興まちづくりの様子をホームページやインスタグラムで発信しています！ぜひフォローしてください！



大月町 事前復興 まちづくり かわら版

樫ノ浦

第1号

事前復興計画に向けた地区座談会を開催。 地区についてたくさんの意見がでました！

2024年11月27日（水）14:00～16:00、樫西防災活動センターにて事前復興計画に向けた地区座談会を行いました。

地区座談会では、地区にお住まいの皆さまで改めて地区の状況を共有することを目的に、まずは、被災後も残していきたい「地区の強み・魅力」、復興まちづくりに併せて解消したい「地区の弱み・課題」を出し合いました。

その後、「地区の魅力を伸ばす」「地区の課題を解決する」ためのアイディアを出し合い、最後に「復興まちづくりの方向性」を話し合いました。

今回の結果を踏まえ、来年度以降も地区での話し合いの機会を設けていく予定ですので、今回ご都合がつかなかった方を含め、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



令和6年度から8年度まで事前復興の取組として、沿岸18地区の皆さまと話し合いを行います。

大月町は東日本大震災後から続けている避難路整備を始めとした町民の皆さまの命、生活を守り繋げる「防災」の取組と併せて、令和5年度より、災害が発生した際にどのように町や地域を復興するのかを予め考える「事前復興」の取組を開始しました。特に、南海トラフ地震による津波で被害の発生が危惧される沿岸18地区において、令和9年度の計画策定を目標に、令和6～8年度までの3年間、地域の皆さまと話し合いをしながら、地区別に復興の形を一緒に考えていきます。



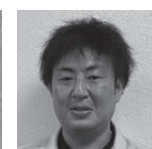
大月町役場

樫ノ浦の担当職員の紹介

令和9年度の計画策定にむけ、4名の町職員が地区担当職員として地域での話し合いを支援します。



横山 竜也



弘田 玄



大崎 杏莉



横山 聖

樫ノ浦地区の担当として、これから地区の皆さまと一緒に防災や復興について考えていきます。よろしくお願いします。

皆さまと話し合った内容を
2～4ページにまとめています。

自然環境が良い！

- 良さ
 - ・海（自然）が良い
 - ・磯遊びができる
- 課題
 - ・ゴミの不法投棄がある
- アイデア
 - ・ゴミの不法投棄の取り締まり

キャンプ場など観光資源がある

- 良さ
 - ・キャンプ場ができた
 - ・景色が良い
 - ・野山と海の食材が豊富
- 課題
 - ・キャンプ場の管理体制（地域おこし協力隊と地元の方の協力が必要）

文化について

- 良さ
 - ・夏・秋まつりがある
- 課題
 - ・夏・秋まつりの人手不足

暮らしのこと

- 良さ
 - ・人のつながりが強く治安が良い
 - ・みんなが協力的
 - ・安全なまち
 - ・誰とでも気軽に話せ、仲が良い
 - ・景色がきれいなので散歩が楽しい
- 課題
 - ・駐車場が遠いので、家まで荷物を運ぶのが大変
 - ・人口の減少（若手の不足）
 - ・生鮮食品を扱う移動販売が減った
 - ・空き家の倒壊の危険がある
 - ・空き家が増えた
- アイデア
 - ・道端に花を植えてくれている。もっと増やせたら良い。
 - ・自己負担のない空き家の撤去



防災について

- 良さ
 - ・防災に関して地区内で役割を決める
- 課題
 - ・山崩れが恐ろしい
 - ・土砂災害の危険がある
 - ・川が地区の真ん中を流れているので、増水が怖い
 - ・台風の時等に堤防の対策が必要
 - ・津波が来る
 - ・避難する道が狭い
 - ・避難時に車が使えない
- アイデア
 - ・檜ノ浦の山へ行く道を避難道として安全に整備してほしい
 - ・災害時の整備
 - ・備蓄倉庫を増やして欲しい（荷物を置きたい）
 - ・檜ノ浦の上の住宅地のところに倉庫とトイレの整備
 - ・弘見へ避難できるように空き家の確保が必要
 - ・高台への移転の検討
 - ・土砂崩れ対策
 - ・ソーラー充電機などの導入
 - ・数年前に決めた防災計画を見直して更新したい

防災バッグの準備も
せんといかんね。



道路・公共交通のこと

- 課題
 - ・交通の便が悪い
 - ・地区内の道が狭いので、緊急車両が入れない
 - ・生活道が狭く、崩れた時に避難する道がない。
- アイデア
 - ・地区内の道の整備
 - ・行政による道路などのハード整備
 - ・県道の傾斜がもっとゆるやかになったら、もっと散歩が楽しくなる

まちづくりの方向性

- 過ごしやすいにぎやかなまちづくり
 - ・若者の定住
 - ・地区行事の維持
- 漁業のまち
 - ・港の整備

